

伊勢の横輪町活性化委

農村振興局長賞に

伊勢市の中山間地域で町おこしに取り組む地元住民の横輪町活性化委員会が、農林水産省など主催の「美の里づくりコンクール」で

農水省農村振興局長賞を受けた。昨年の「豊かなむらづくり全国表彰事業」（農水省など主催）の東海農政局長賞に続く受賞。二十五

開局長賞は大賞に次ぐ賞で、県内では初の入賞となった。

活性化委員会は過疎・高齢化が進む中、二〇〇六年に設立。地場産品直売所を拠点に町民九十七人全員が会員となり活動に励む。町の景観を形成する防風の石垣を保全し、横輪桜の植栽などで美観を守っていることが評価された。

日に市役所で表彰式があった。

美の里づくりコンクールでは、地域の自主的努力で農山漁村の美しい景観を保全、形成している地域の活動事例を顕彰している。今年で六回目。農村振

式では、岡本松会長（左）が表彰状を受け、続いて鈴木健一市長に報告した。岡会長は「五年間の活動の苦勞が実った」と喜んでい

た。（大槻富子）



農水省農村振興局長賞を受けた横輪町活性化委員会の岡会長（右から二人目）ら。伊勢市役所で

目。農村振